



Copyright © 2014 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 改訂情報
- OAuth認証モジュール について
- 基本的な操作
 - クライアントアプリケーションのアクセスを許可する
 - クライアントアプリケーションのアクセスを無効にする
- 応用的な操作
 - API キーによるアクセス許可機能を利用する
 - API キーを発行する
 - 発行した API キーを確認する
 - 発行した API キーを削除する

改訂情報

変更年月日	変更内容
2014-12-01	初版
2023-10-01	第2版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none">■ 「応用的な操作」に「API キーによるアクセス許可機能を利用する」を追加しました。
2024-04-01	第3版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none">■ 「発行した API キーを確認する」と「API キーを発行する」の画面キャプチャを更新しました。

OAuth認証モジュールは intra-mart Accel Platform 上でOAuth認証機能を利用するためのモジュールです。

OAuth認証を利用することで、アプリケーションがリソースを参照する際にパスワードやその他の認証情報をアプリケーションにさらすことなくアクセスを許可できます。

基本的な操作

ここでは OAuth認証機能 の基本的な操作を紹介します。

クライアントアプリケーションのアクセスを許可する

アクセス許可はユーザがクライアントアプリケーションを利用する事によりスタートします。

1. クライアントアプリケーションから intra-mart Accel Platform のログイン画面へ遷移し、ユーザ認証を求められます。
既にブラウザ上で認証済みのセッションが存在する場合はユーザ認証はスキップされます。



2. ユーザコード・パスワードを入力してユーザ認証を行うとクライアントアプリケーションの認可画面が表示されます。



3. クライアントアプリケーションが求めるアクセス権限を確認し、「許可する」をクリックします。

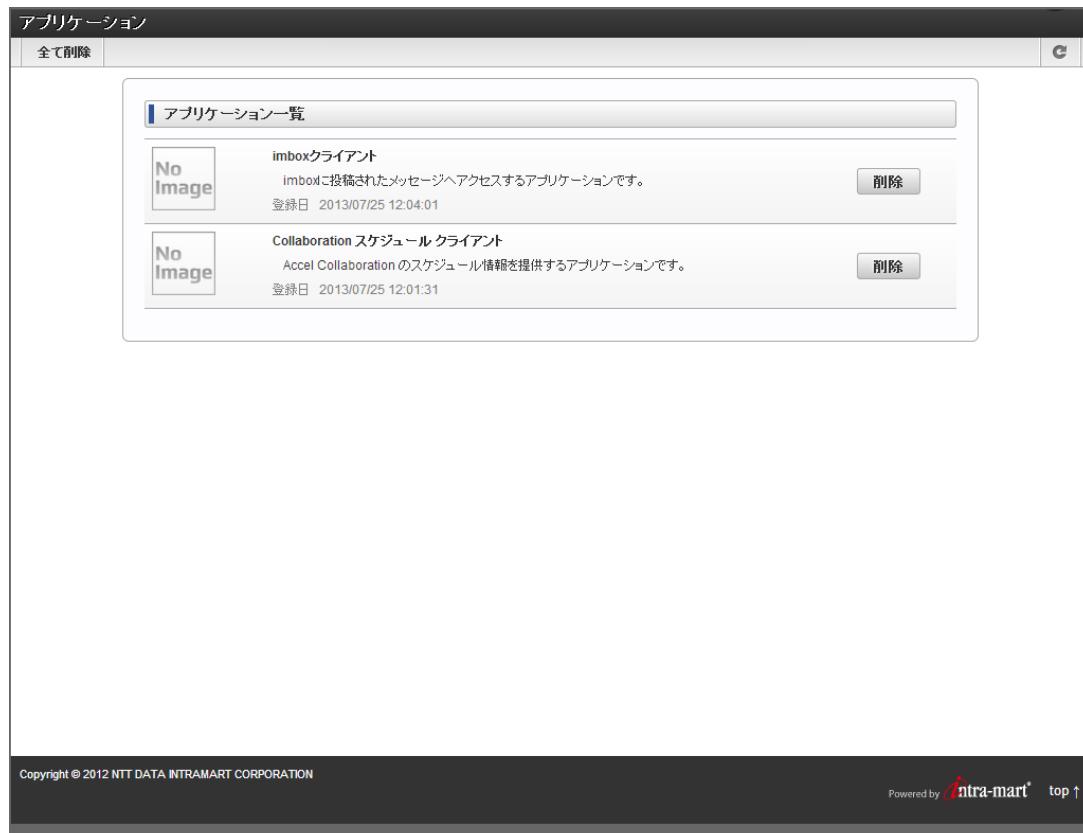


4. クライアントアプリケーションがリソースを利用することが可能となります。

クライアントアプリケーションのアクセスを無効にする

クライアントアプリケーションのアクセス許可を無効にする場合は以下の手順で行ってください。

1. intra-mart Accel Platform にログインして、「サイトマップ」→「個人設定 - アプリケーション」の順にクリックします。



2. アプリケーション一覧よりアクセス許可を無効にするアプリケーションの「削除」をクリックします。

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

Powered by top ↑

3. 決定をクリックします。

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

Powered by top ↑

4. アクセス許可を無効にできました。

応用的な操作

ここでは OAuth認証機能 の応用的な操作を紹介します。

API キーによるアクセス許可機能を利用する

API キーを発行して intra-mart Accel Platform 上のリソースにアクセスする方法について紹介します。

API キーを発行する

API キーを発行する場合は以下の手順で行ってください。



注意

API キーは有効期間の長いトークンであるため、漏洩した際のセキュリティリスクが高くなります。

発行した API キーはセキュリティで保護された場所に保管し、定期的なローテーション（API キーの再発行）やアクセスを許可するリモート IP アドレスの制限等、セキュリティリスクを緩和する対策を講じることを推奨します。

1. intra-mart Accel Platform にログインして、「サイトマップ」→「OAuth 認証 - API キー - API キー一覧」の順にクリックします。
2. 「API キー発行」をクリックします。

API キー発行

3. フォームの各要素の内容を入力して「発行」をクリックします。

APIキー発行

基本情報

表示名	<input type="text" value="標準 * Sample API key1"/> ユーザロケールの表示名が設定されていない場合、「標準」の表示名が表示されます。
説明	<input type="text" value="日本語 This is a sample API key"/>
有効日数 *	<input type="text" value="10"/> 日間
画像	+ ファイル追加 × 中断 ○ 削除

アクセス範囲 *

+ 追加	- 別途
<input type="checkbox"/> スコープ	表示名 説明
<input type="checkbox"/> Immaster	共通マスターへのアクセス 共通マスターへのアクセスを許可します。

IP アドレス制限

+ 追加	- 別途
<input type="checkbox"/> IPv4 アドレス	

発行

設定項目	必須	説明
基本情報	表示名	標準のみ必須 API キーの表示名を設定します。 ロケール毎に設定可能です。 ※ログインユーザのロケールの表示名が設定されていない場合、「標準」の表示名が利用されます。
	説明	— API キーの説明を設定します。 ロケール毎に設定可能です。
	有効日数	必須 API キーの有効日数を設定します。 「1~9999」の範囲で設定してください。
	画像	— API キーを識別する画像を設定します。
アクセス範囲	必須	API キーに許可するアクセス範囲を設定します。
IP アドレス制限	—	API キーの使用を許可するリモート IP アドレスを設定します。 [m-n] での範囲指定や、* でのワイルドカード指定が可能です。 例：「192.168.[0-24].[0-254]」「192.168.0.*」

**注意**

未設定の場合はすべてのリモート IP アドレスに対して API キーの使用を許可します。

**コラム**

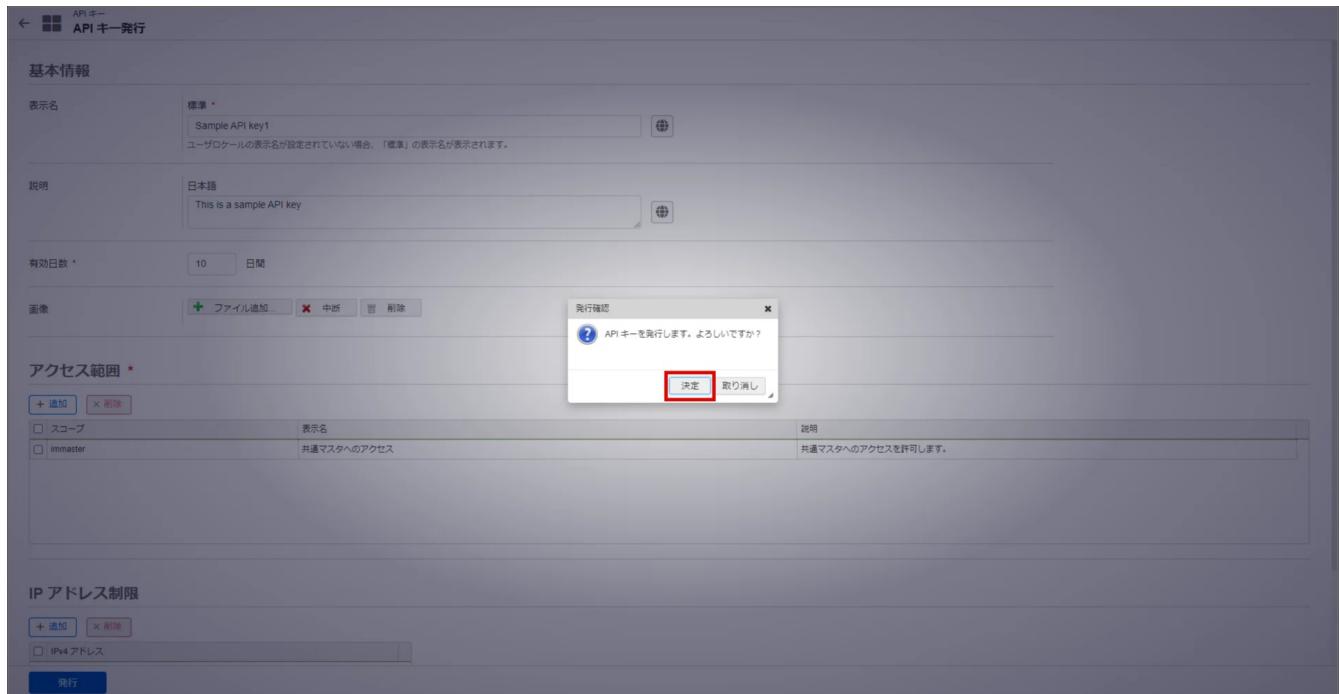
発行後は設定の変更はできません。

設定を変更する場合や有効期限が切れた場合は、「[発行した API キーを削除する](#)」の手順で API キーを削除して再度発行してください。

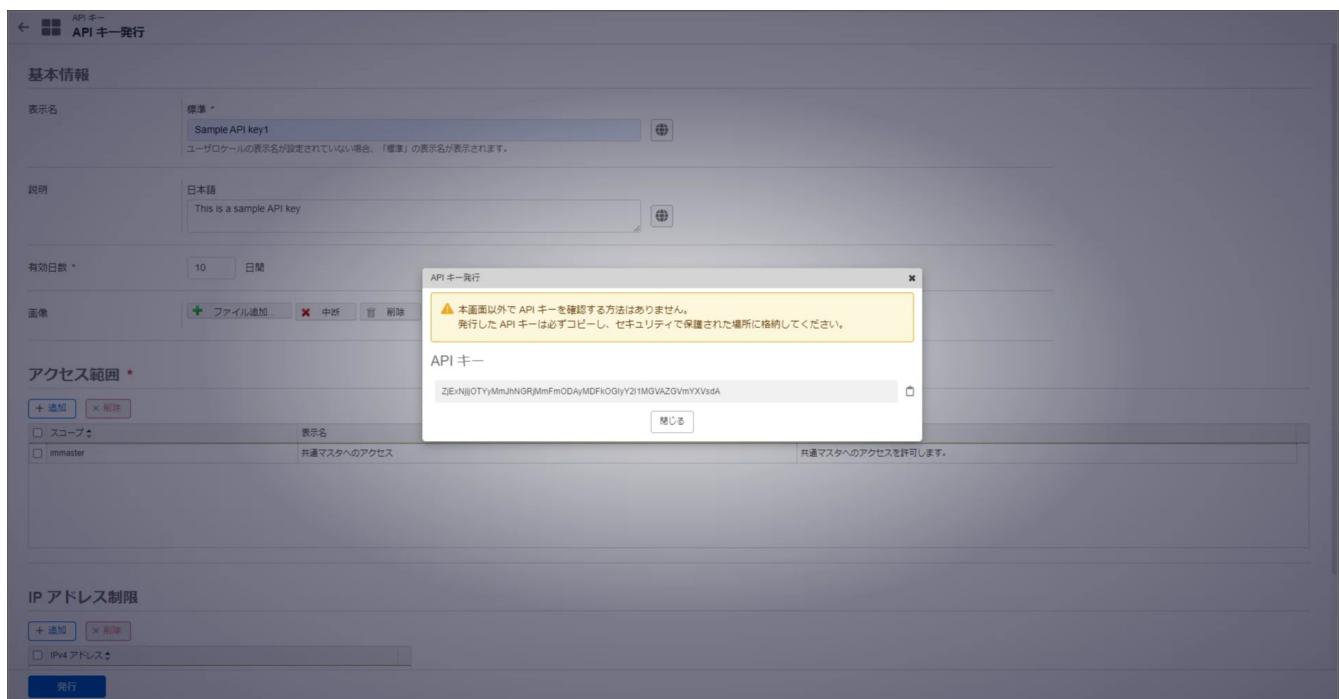
**コラム**

リモート IP アドレスの取得に関しては「[設定ファイルリファレンス](#)」 - 「[IPアドレス取得元設定](#)」を参照してください。

4. 「決定」をクリックします。



5. API キーが発行されました。



コラム

クリップボードアイコンをクリックすることで、発行された API キーをクリップボードにコピーできます。



6. 発行した API キーを付与したリクエストを送信することで、intra-mart Accel Platform 上の OAuth 認証方式のリソースへアクセスできます。

Authorization リクエストヘッダフィールドを使用して API キーをベアラートークンとして送信してください。

```
GET /<resource_path> HTTP/1.1
```

```
Host: localhost
```

```
Authorization: Bearer <api_key>
```

- curl コマンドの例 :

```
curl http://<host>:<port>/<contextPath>/<resource_path> -H "Authorization: Bearer <api_key>"
```



コラム

API キーは intra-mart Accel Platform 上で提供する以下のようなリソースで使用できます。

詳しくは各ドキュメントを参照してください。

- OAuth認証モジュール を用いて提供するクライアントリソース
参考：[OAuth プログラミングガイド](#)
- Web API Maker を用いて提供する OAuth 認証方式の Web API
参考：[Web API Maker プログラミングガイド](#)
※Web API Maker で OAuth 認証方式を利用するには Web API Maker OAuth認証モジュール が必要です。
- IM-LogicDesigner を用いて提供する OAuth 認証方式の Web API (フロールーティング)
参考：[IM-LogicDesigner ユーザ操作ガイド](#)
※フロールーティングで OAuth 認証方式を利用するには IM-LogicDesigner REST API OAuth認証モジュール が必要です。
- ViewCreator を用いて提供する OAuth 認証方式の Web API (クエリルーティング)
参考：[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)

発行した API キーを確認する

発行した API キーを確認する場合は以下の手順で行ってください。

1. intra-mart Accel Platform にログインして、「サイトマップ」→「OAuth 認証 - API キー - API キー一覧」の順にクリックします。
2. 発行した API キーの一覧が確認できます。

APIキー一覧		
No Image	Sample API key2 This is a sample API key. 発行日時: 2023/08/31 9:30:27 有効期限: 2023/09/15 9:30:26	削除
No Image	Sample API key1 This is a sample API key. 発行日時: 2023/08/31 9:20:50 有効期限: 2023/09/10 9:20:49	削除

3. 発行時に設定した情報を確認する場合は、一覧をクリックして API キー詳細ダイアログを表示します。

The screenshot shows a list of API keys. The first key is labeled 'Sample API key2' and has a note: 'This is a sample API key.' It was issued on 2023/08/31 9:30:27 and is valid until 2023/09/15 9:30:26. The second key is labeled 'Sample API key1' and has a note: 'This is a sample API key.' It was issued on 2023/08/31 9:20:50 and is valid until 2023/09/10 9:20:49. A red box highlights the second key.

4. API キー詳細ダイアログから設定情報を確認できます。

The screenshot shows the 'API Key Details' dialog box. It contains the following fields:

- 基本情報** (Basic Information):
 - 表示名: 標準 (Standard)
 - 说明: 日本語 (Japanese)
 - 有効日数: 10 (Days)
 - 画像: No Image
- アクセス範囲** (Access Scope):

スコープ	表示名	説明
immaster	共通マスターへのアクセス	共通マスターへのアクセスを許可します。

発行した API キーを削除する

発行した API キーを削除する場合は以下の手順で行ってください。

1. intra-mart Accel Platform にログインして、「サイトマップ」→「OAuth 認証 - API キー - API キー一覧」の順にクリックします。
2. 一覧より、削除する API キーの「削除」をクリックします。

The screenshot shows a list of API keys. Each key entry includes a placeholder image icon, the key name, a brief description, issuance date, expiration date, and a red 'Delete' button.

API Key	Description	Issuance Date	Expiration Date	Action
Sample API key2	This is a sample API key.	発行日時 : 2023/08/31 9:30:27	有効期限 : 2023/09/15 9:30:26	削除
Sample API key1	This is a sample API key.	発行日時 : 2023/08/31 9:20:50	有効期限 : 2023/09/10 9:20:49	削除

3. 「決定」をクリックします。

A confirmation dialog box titled 'Delete Confirmation' is displayed. It asks if the user wants to delete the API key. The 'Decision' button is highlighted with a red box.

4. API キーを削除できました。

i コラム

再度 API キーを発行する場合は、「[API キーを発行する](#)」の手順を行います。

i コラム

API キーによるアクセス許可機能を利用するには「API キー発行」権限が必要です。

i コラム

API キーによるアクセス許可機能は intra-mart Accel Platform 2023 Autumn(Hollyhock) 以降のバージョンで利用可能です。